

All Active Learning

4年間全ての学びが、アクティブラーニング。

経営学部では、すべての授業が「アクティブラーニング型」。教員が学生に対して一方的に指導する講義形式ではなく、学生が主体となって、議論や調査・研究、発表などさまざまな活動を通じて知的好奇心・モチベーションを育て、能動的に学ぶことができます。

POINT 2

第一線で活躍する講師陣によるアクティブラーニング

産業界などでの豊富な実務経験を有する教員や、経営学、各学科の専門テーマに関する研究業績を有する教員が勢ぞろい。各教員の専門的な指導のもと、学生が主体となるアクティブラーニング型の授業を展開します。

研究・実務家
教員比率
研究 **1:1** 実務
出身

POINT 1

1年次から始まる少人数のゼミベース教育

1年次から少人数によるゼミベース教育を展開。経営学の基礎をしっかりと固めたら、2年次からは興味のあるテーマのゼミに所属して学びます。リサーチとディスカッションを重ね、卒業研究、そして将来の夢へ進んでいきます。

1学年あたりの
教員一人に対する
平均学生数

約 **6** 人

POINT 3

企業や自治体と連携したPBL(課題解決型)授業と成長型専門インターンシップ

50以上の企業・自治体と連携したPBL(課題解決型)授業によって、社会との深い関わりの中で、実践力を磨いていきます。そして、成長型の専門インターンシップで即戦力となる経営人材へアップデート。

連携企業・自治体数
50 以上

POINT 5

4年間の学びの成果を発揮する卒業研究・卒業論文制作、発表

●過去の卒業研究テーマ例

財務データから読むユニクロのビジネスモデル
日本化粧品企業のアジア市場戦略
マーケティング手段としての動画広告とその効果
カフェ・喫茶店の空間分煙による経営への影響に関する一考察
産学連携による製菓キットの商品開発
日本のeスポーツの定着による市場拡大に関する研究
スポーツチームのキャラクター戦略についての一考察

BECOME A BUSINESS LEADER!
次世代を支える“経営人材”へ。



POINT 4

海外ビジネスの最前線で学ぶグローバルアクティブラーニング

各学科・コースの専門に関わる内容を海外で学ぶことのできる海外研修が充実。ここでもアクティブラーニングの手法を取り入れ、学生主体で協働しながら学びます。異なる言語や文化の中で課題に取り組むことで、国際的な視野での課題解決力を養います。

海外プログラム・
研修・留学参加者数
毎年
100 名
以上

●過去の実施プログラム例

第4次産業革命とグローバルビジネス ～AIを活用した新ビジネスモデル開発～ 【渡航先】韓国
フランスにおける ボルディエバター製造と流通を学ぶ 【渡航先】フランス
海外スポーツビジネス調査 ～FCバルセロナ、ポストレッドソックス～ 【渡航先】スペイン・アメリカ



●過去の実施PBL授業例

連携先企業・団体	
公共施設の利用者向上施策の提案	京都水族館、バンドー神戸青少年科学館
新商品(ココナッツソース)開発プロジェクト	(株)ココウェル
高齢者のための「分かりやすい駅案内表示」提案プロジェクト	関西圏電鉄会社
オリジナル健康弁当を開発・販売しよう!	ニッポンハムグループ、佐竹食品株式会社
産官学連携による大阪産(もん)野菜を使った商品開発	NSW株式会社、JA全農大阪
大阪府池田市「大阪池田チキチキ探検隊」	池田市役所
「青果売り場を企画してみよう!」	大阪中央卸売市場、株式会社林田商店ほか
食物アレルギーに配慮した菓子パンの商品開発	日本ハム(株)、東北日本ハム(株)ほか
スポーツを活用したしまなみ海道エリアへの観光来訪者拡大施策の考案	一般社団法人しまなみジャパン、株式会社今治夢ほか
シュライカー大阪のホームゲームの観戦者拡大に向けた施策の立案	シュライカー大阪
堺市の観光客増加を予想したスムーズな受け入れのための解決方法を提案	堺市文化観光局